

# すわみつえ通信

No.174 2021年5月24日(月)

日本共産党鴻巣市議会議員

諏訪 三津枝



連絡先 鴻巣市赤見台3-2-7  
TEL: 596-9440 FAX: 507-4151  
携帯: 080-5039-2785  
E-mail: mi-suwa@ezweb.ne.jp  
mitsue-suwa@jcom.zaq.ne.jp

WEBで

すわみつえ



ホームページで、すわみつえの政策とお約束をご紹介します。

福祉・教育最優先の街づくり 市民の声を生かしいのちとくらしを守る市政に

## 75歳以上のワクチン 接種予約進む

5月17日より75歳以上の方のワクチン接種のための予約が開始されています。75歳以上の方、約18,000人の内10,953人の予約が完了(5月21日正午現在)していると当局より報告がありました。インターネット予約がおよそ9割で、電話予約が1割強のようです。

### 電話が繋がらないときは

「3日間電話しているけど繋がらない」とご連絡いただきました。電話予約は日曜日・金曜日の9時～17時で一日20回線が対応していますが、繋がりにくいようです。接種券番号と生年月日があれば離れたところからでもインターネットでの予約ができます。すわみつえ市議までご連絡いただければお手伝い致します。

### インターネットで

### 予約できないときは

「NTTドコモの『らくらくホン』では予約できなかった」と情報をいただきました。インターネット予約は24時間対応ですので繋がりがやすいですが、予約システムが対応しない「Internet Explorer」ブラウザの初期設定ブラウザ

65歳～74歳の「予約受付開始のお知らせ」はがきの発送時期について、スムーズな接種を行うため、下記のとおり一部変更されました。

【変更前】

年齢	対象者数	はがき発送時期	予約開始時期
70歳～74歳 (昭和22年4月2日～ 昭和27年4月1日生まれ)	10,179人	5月24日(月)	6月上旬
65歳～69歳 (昭和27年4月2日～ 昭和32年4月1日生まれ)	8,329人	6月上旬以降	6月中旬以降

## 65歳以上～74歳の予約 受付開始時期の変更

ウザ」からは予約ができません。「利用のパソコンやスマホに「Chrome」「Safari」などをインストールすることで可能となります。ネット予約そのものが苦手というときも「連絡ください」。

【変更後】

年齢	対象者数	はがき発送時期	予約開始時期
65歳～74歳 (昭和22年 4月2日～ 昭和32年 4月1日生まれ)	18,508人	6月上旬以降	はがきでご案内
※75歳以上の予約状況により年齢を区切って前倒しもあります。今後の予約や接種回数の拡大等の状況により接種スケジュールを決定させていただきます。			

晴天に誘われ、川里  
花久の里でバラ鑑賞



5月23日

喪の家の庭にも薔薇は匂いけり

俳句コーナー

瑠璃子

毎週朝 駅頭においてホットなニュース「すわみつえ通信」をお届けします。

(月)吹上駅南口 (火)北鴻巣駅東口 (水)北鴻巣駅西口 (木)吹上駅北口 (金)鴻巣駅西口

## 日本共産党市議団と他会派 議員連名で市にコロナ対策 の要望書を提出

5月21日、コロナ対策の要望を加藤久子・菅野博子両市議とともに要望書を提出しました。

ワクチン接種の予約を公民館などで支援、身体の不自由な方のワクチン接種支援、市内事業者への事業継続のため市独自支援策と国に対して持続化給付金の再度の実施を求める、「生理の貧困」に対する小中学校の女子トイレや保健センターなどでの生理用品の常備、東京オリンピック・パラリンピックは中止するよう関係者に求め、市内小中学校の児童生徒の観戦中止など、7項目を要望しました。

## 「コロナ封じ込め」を戦略目標に すえ3本柱の対策強化を 日本共産党が政府に緊急要請

日本共産党の志位和夫委員長は5月20日、菅義偉首相あてに、新型コロナウイルス感染症の



「封じ込め」を戦略にすえ、ワクチン接種、大規模検査、十分な補償の対策強化を求める緊急要請を行いました。志位氏が国会内で河野太郎ワクチン担当相と会談し、要請を手渡しました。

## 東京五輪・パラ 子どもが危ない 競技観戦に児童・生徒81万人 動員計画 保護者も「がくぜん」 コロナ無視の無謀 “学校連携”



国立競技場の前にある五輪マークのモニュメント=AERA dot.提供

東京都内の公立・私立の幼稚園から高校、特別支援学校などの園児や生徒などの約8割、約81万人を今夏の東京五輪・パラリンピック競技観戦に動員する。新型コロナウイルス感染症拡大が深刻となる中、子どもの命をリスクにさらす無謀な計画を都が強行しようとしていることが「しんぶん赤旗日曜版」編集部調べで分かりました。

問題となっているのは、大会組織委員会が進めている、子どもに競技を観戦させる「学校連携観戦」です。観戦をオリパラ教育の一環と位置づけ、全国で約128万人が参加を予定していました。しかし、この計画は感染拡大前につくられたもので、感染リスクは考慮されていません。競技会場までの移動は公共交通機関。観戦日程には真夏の炎天下の競技もあり、熱

中症の危険も指摘されています。東京都医師会の尾崎治夫会長は「冷静に判断し、やめるべき」と語ります。

## 五輪観戦動員下見 「感染対策説明ない」 参加教員

実地踏査（下見）に参加した教員は「公共交通機関を使って、1日に数百人もの教員を集めるのはリスクが高い。これがきっかけで学校に感染が広まる可能性もある」と懸念します。

この教員によると実地踏査の段階でも、子どもたちが会場までの移動に使う公共交通機関や、観戦時の感染対策がほとんど示されていません。

感染リスクを無視して都が強行を狙う学校連携観戦。変異株のリスクもあるなか、ワクチンを接種していない何十万人もの子どもが危険にさらされるのは明白です。小学1年の子どもを持つ都内在住の母親は憤ります。「五輪は中止してください。国も都も学校も、子どもたちの命を最優先に考えてください。いま必要なのは五輪ではなく、感染から子どもたちの命を守ることで」（日曜版 5月22回掲載）

## まるでレジ打ちしているみたいなお秋田犬の「梅子ちゃん」、警察官に任命



酒店でレジ打ちするしぐさを撮影した動画がツイッターで138万回以上再生され、人気を集めている秋田犬・梅子が5月19日、秋田県警鹿角署から「秋田犬（県）警察官」に任命された。早速、小学生を見守るパトロールの初仕事に当たった。

梅子は生後9カ月の雌で、飼い主の高橋延枝さん＝同県小坂町＝が営む「リカーショップたかはし」の見習い店員。レジに立つ高橋さんの姿に興味を持ったのか、しぐさをまねるようになったという。知名度の高さに注目した鹿角署が「巡査」の辞令を交付した。来年3月まで特殊詐欺への注意喚起やツイッターを通じた情報発信に携わる。（共同通信社 5月19日付）

